



復興に願いを込めて

平成 29 年 9 月 28 日撮影

平成 29 年 7 月 5 日（水）九州北部豪雨が発生致しました。犠牲者 37 名、行方不明者 4 名、住宅被害もかなりの数になり、今までに経験したことのない甚大な被害を及ぼす事態になりました。犠牲者の方には心よりお悔やみ申し上げますとともに、今後の復興に向けて当協議会もより一層、力を合わせて取り組んでいきます。

北部九州豪雨災害から 一般社団法人 朝倉介護保険事業者協議会 代表理事 出水清治

北部九州豪雨災害から 2 箇月を経ても、深い傷跡が各地域にて多くあり、唖然とする様な光景が点在しています。改めて、被災された方々や不幸にもお亡くなりになられた方々へ哀悼の意を捧げます。思い起こせば、7 月 5 日当日、午後 2 時過ぎ位から大粒の雨が叩きつける様に地上に降りかかり、あっという間に国道は川の如く流れ始めました。当時私は、朝倉消防本部へ要件があり挨拶に向かっていた時の事でした。あまりにも危険な状態であり、前に進むも後帰りしなくてはならない決断のもとに杷木方面へ帰宅しようと考えました。しかし、国道 386 号線は各拠点において、川の氾濫が危険水位をオーバーして通行困難という状態に陥っていました。用心に用心を重ねて浮羽吉井方面にシフトしてやっとの思いで帰れる事が出来ました。危険な体験をされた方も多かった事でしょう。テレビ放送では、各地区のあまりにも惨い出来事に食い入る様に見つめて、自然の怖さを感じていた事を思い出します。私が以前勤めていた東峰村の特養「宝珠の郷」の裏山が崩れて施設内の駐車場へ流れ落ちて自家用車がかなりの数を土砂が押しつぶしてしまっていました。福祉避難所へ地域の方々、帰る事が出来ないデイサービス利用等と職員は、数日間にわたり宿泊して困難に向って対応された事に頭が下がる思いでした。同じく村内にある特養「清和園」も国道が寸断されて利用者と宿泊対応されたとの事で、我慢強く対応された皆様に敬意を表す次第です。全国、各方面からの自衛隊、消防、警察等の応援を目にして安堵したものです。東峰村へ 4 回訪問、朝倉・杷木地区へ計 2 回ボランティアに参加しました。おびたしい土砂の除去を中心として活動しました。その中で、朝倉圏内及び近隣の福祉施設の方々の支援を目にして心強く感じました。



被災された方々が肩を落とされていた姿が何とも言い様がありませんでした。まとめとして、全国からボランティア参加活動が継続して行われていますが、長期に亘るものと推測するところです。被災者の方々が 1 日も早く復旧される事を祈るばかりです。私共、朝倉介護保険事業者協議会の現在の支援は、求められる要援護者の心・身体・生活援助等を行政、関係機関との更なる連携により、会員各位の協力の基に継続した活動に努めて参ります。

協議会ホームページへ今すぐアクセス！ <http://asakura.in>

朝倉介護

検 索

<復興の様子>

特別養護老人ホーム 宝珠の郷



土砂が駐車場に流れ込み、職員の車も巻き込まれました。今は通行でき、元の姿に戻りつつあります。

特別養護老人ホーム 清和園

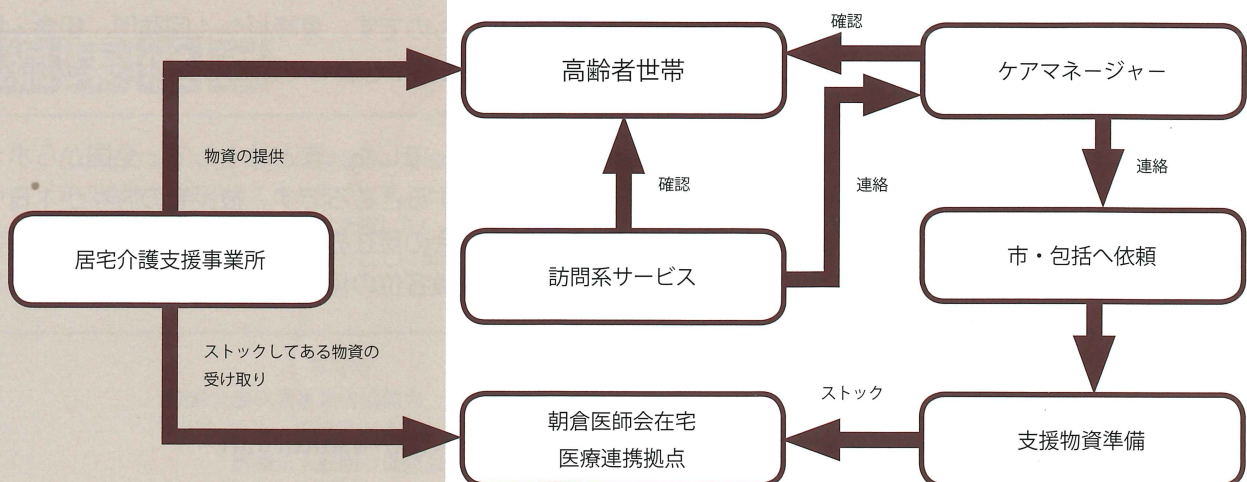


施設前の道路が冠水し一時通れなくなりましたが、今は復旧し施設にも直接の被害はありませんでした。

事業報告 | 各機関連携による在宅生活高齢者への支援物資の提供

この度の九州北部豪雨については、在宅に住む要支援・要介護の高齢者のいる世帯にも甚大な被害を及ぼし、飲み水がない、オムツが流された、着るものがないなどの多数の声が聞かれました。この状況を鑑み、朝倉市介護サービス課、朝倉医師会介護支援センター、各地域包括支援センターの呼びかけもあり、要支援・要介護状態の高齢者世帯に対し、支援物資が届くシステムを各協議会会員に呼びかけご協力頂きました。

<支援物資提供までの流れ>



事業報告Ⅱ 役員選任に伴う臨時総会



平成 29 年 7 月 19 日、役員選任に伴う臨時総会が朝倉医師会在宅医療連携拠点会議室にて行われました。議長に實藤医院院長實藤俊昭居宅療養管理指導部会長が選出され、草場厚子副会長の辞任と新副会長に古川晃久氏（社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会介護保険担当理事）の選任が承認されました。

副会長就任のご挨拶

一般社団法人 朝倉介護保険事業者協議会 副会長 古川 晃久

この度、草場厚子副会長の後任に選任されました古川晃久でございます。まだまだ介護保険や当協議会についてはわからないことも多くございますが、皆様と一緒に協議会の活動に取り組んで参ります。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。



事業報告Ⅲ 平成 29 年度第 1 回スタッフセミナー

「尊厳ある認知症ケアを導くために」

～人として専門職として自分力アップを目指して～

居宅介護支援部会 ケアプランサービスきらく荘 千原 洋二郎

去る平成 29 年 9 月 28 日（木）、めくばーる町民ホールにて平成 29 年度第 1 回スタッフセミナーが開催されました。前回は豪雨災害で開催できなかったのが今年度初めてのスタッフセミナーとなりました。今回は大牟田市認知症ライフサポート研究会、認知症コーディネーターである永江孝美氏を講師に迎え講演をしていただきました。

- まず認知症ケアの前に接遇の基本を学びました。講師の先生の実体験で職場の人間関係に悩む新人看護師が苦手な先輩に挨拶をする事から、人間関係が良い方向に向かい悩みを解決できた話をしていただき参加者は挨拶の大切さを改めて考える事が出来ました。

認知症ケアでのパーソンセンタードケアの視点は、認知症ケアの入口は「共感」そして出口は「地域」という事を学びました。利用者様との関わりは困っている事の共感から始まり、そして最終目標は地域と共に生きていく事への架け橋だと私は理解しました。これからはそのことを念頭におきよりよいケアマネジメントを行っていこうと決意をした講演となりました。



事業報告Ⅳ 褥瘡予防研究会

第1回講習会 「褥瘡の基礎知識と褥瘡予防ケアの知識」

福祉用具部会 部会長 (株)グット・リンク朝倉 吉開 翔悟

褥瘡予防研究会は、施設、在宅のケアに係る方々の褥瘡予防における知識・技術の向上を図り、地域全体で「褥瘡ゼロを目指す」活動を行っています。平成29年度も計4回の講習会を予定しています。

第1回目の講習会は、6月15日にピーポート甘木にて開催致しました。朝倉医師会病院 皮膚・排泄ケア認定看護師の半田陽子様を講師に迎え、「褥瘡の基礎知識と褥瘡予防ケアの知識」をテーマに講習会を行って頂きました。写真付きの症例も入れて頂き、褥瘡予防の基礎知識やケアの方法、職種ごとの役割や他職種との連携の重要性を学ぶことができ、参加者は熱心に受講されていました。前年度より参加者も多く、会員の皆様の褥瘡予防研究会への関心も高まってきたのではと感じました。

今後も褥瘡予防研究会では、地域全体で褥瘡ゼロを目指し活動を行っていききたいと思います。褥瘡予防研究会ではコアメンバーを募集しています。会員の皆様のご協力よろしくお願い致します。

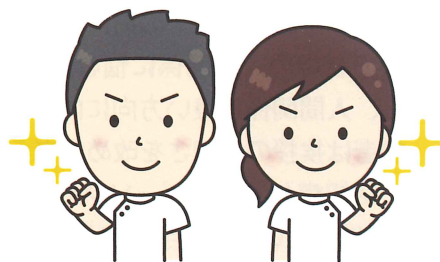


事業報告Ⅴ 部会活動報告

訪問介護部会

朝倉医師会ヘルパーステーション 佐藤 里美

訪問介護部会は、現在11事業所で年に3～4回の定例会を開催しています。介護保険で適切なサービスを実施するために事例検討を行ったり、必要書類が正確に作成できるように書式についても話し合っています。その他、年に1回は訪問介護部会での研修を行っており、平成28年度は消防署で在宅高齢者の防災・緊急時にどう対応したら良いかについて話をしていただき再認識することが出来ました。今年度は救急蘇生法についての研修を実施する予定にしています。先日の部会では災害後ということもあり、災害当日に訪問していた職員に対しての指示や、独居の利用者に対しての対応について各事業所から意見を出し合いました。まだまだ課題は山積みですがこれからもこのような災害がまたいつか起きるかもしれないので、今回の事を教訓に今後は早めに対応できるように部会でも対策について話し合っていきたいと思っています。



Hobby Box

～楽しみ・癒し～

医療法人実藤医院 實藤俊昭

平成 29 年九州北部豪雨災害により亡くなられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

今回、趣味って何があるだろうかと考えてみました。たまに行くゴルフかなとも思いましたが、なかなか趣味と言えるかは疑問があり楽しみにしていることを書くことにいたしました。まずは、年に 1 回行く関門海峡花火大会の観覧。海峡花火大会は、ボランティアで資金も皆様の協賛金で運営されており、門司側の花火大会実行委員会は、花火大会を支援していただくため、協賛金を募集されております。協賛金の金額により椅子席か敷席を指定席で提供していただけます。そのため、場所取りをする必要もなく、近くで海風に当たりながら、ゆったりと観る花火は楽しく疲れを癒やされる一時ではあります。それから、ソフトバンクホークスの試合の観戦ですね。ヤフオクドームに行ってビールを飲みながら、メガホンを叩いて、みんなと盛り上がり応援することは、球場に行って観るからこそその臨場感と興奮を味わえる楽しい時間です。ただ、球場へは年に 2～3 回程度しか行くことが出来ませんので、いつもはテレビでの観戦となります。そのため、20 年前からスカパーを契約し、ホークス全試合を試合終了まで観られるようにしております。今年はリーグ優勝も果たし、あとはクライマックスシリーズを勝ち抜いて、日本シリーズも観戦できればとワクワクする今日この頃です。テレビ観戦と言えばもう一つモータースポーツの F1 を観ることも楽しみで、スカパーを契約したもう一つの理由でもありました。こちらもシリーズ後半となり、シリーズチャンピオンは誰になるのか盛り上がり毎回観ております。野球等を観ている間に気持ちのリフレッシュをしている日々です。



My Way

介護老人保健施設 ラ・パスの竹下 康一さん



今回、紹介させていただく方は、介護老人保健施設でリハビリ担当をされている竹下康一さんです。

一言でいうとバランスの良い竹下さん、俊敏な動き・人との距離感・表情・すべてにおいてパーフェクトだと思います。冗談を言って利用者様を楽しませながらも、常に細部まで気を配っていることでしょう。竹下さんが「この仕事は本当に楽しい」と言われた言葉がとても印象的でした。一緒にいる人は必ず良い影響を受けているはずです。竹下さんは良い趣味をお持ちのようで、納得です。

紹介文：有限会社 環彩 羽野 昇二

次回は竹下さんからの紹介「スキップ朝倉店 黒岩 大輔さん」です！

介護スタッフリレーコラム

「日々奮闘」

訪問看護ステーションけんせい 鶴田 真寿美

7年前に前職場でケアマネージャーの仕事をしていましたが、「訪問看護師養成講習の研修」案内が来ていて、在宅でチームを組む訪問看護の仕事を理解するために、研修を受けてみました。翌年、職場が遠かったこともあり退職したのを機に現在の健生病院の訪問看護へ就職。翌年にはステーションが設置され管理者へ。右も左もよくわからないまま、在宅で過ごされている利用者の方へ少しでも安心して生活が継続できるように、一つでも生きがいを持って生活して頂けるようにと日々奮闘しています。

訪問看護の仕事は、変化やリスクをいち早く発見し、医師や家族、他事業所と連携することが重要です。単独での訪問なので、緊張や迷いもありますが、利用者の方々の笑顔と活力に励まされ、これからも楽しく取り組んでいきたいと思っています。

徒然日記

香月病院 訪問リハビリ 白木 未来

前を向いて

2017年も早いもので8ヶ月が過ぎようとしています。今年の夏、私たちの住んでいる地域にとっては記録的大雨や最高気温の記録更新など例年以上に大変な夏でした。

中でも朝倉市や日田市を襲った九州北部豪雨。まさかこんな身近で被害が出るなどと予想もしませんでした。雨が“怖い”と思ったことは初めてでした。

被災地ではあの日を境に生活のすべてが変わってしまった人たちがたくさんいます。連日テレビなどで報道されている映像を見て、同じ朝倉市内でも“あたりまえの生活”が送っていない人たちがたくさんいることに気づかされました。と同時に“普通の生活”を送ることの有り難さが身に染みました。

私たちに何ができるか…。義援金、ボランティア、物資支援、ふるさと納税、地産地消…。地元で起きた災害を通して調べることから始め、手助けになる方法をいくつか見つけました。そして実際の災害現場では自衛隊、

消防、警察の各機関や愛知県から日本に一台しかない災害救助消防車が初めて出動しました。また、東北、関西、熊本をはじめ、他県からも救援活動やボランティアに参加して頂き、地元だけでなく日本中から温かい手助けと応援を頂きました。10月には天皇皇后両陛下も被災地訪問のご計画をされておられるとのことでした。

このような支援の輪を身近に感じ、大袈裟かもしれませんが災害が発生した時の日本国民の団結力は世界に誇れる財産だと思っています。

大雨被害から1ヶ月が過ぎましたが、復興への道のりはスタートしたばかりです。しかし、確実に一步一步歩を進めていることも確かです。もう一度、地域の皆様が安心して暮らせる朝倉市、自然豊かな風景を取り戻すまで時間はかかるかもしれませんが自分たちにできることをしていこうと思います。

頑張ろう朝倉! 踏ん張ろう朝倉!!

編集後記

この度の7月5日の災害は朝倉市・東峰村に想像を絶する被害をもたらしました。会員の皆様も事業所に限らず各ご家庭でも大変ご苦労されていることと思います。広報部は皆様の取り組みや協議会の運営などを中心に取り扱っていますが、皆様の元気につながるような明るい投稿も企画したいと考えています。こんな企画が面白い! こんな取り組みをしています! などございましたら是非ご連絡下さい。お待ちしております!

(広報部：眞田)

事務局

朝倉介護保険事業者協議会 事務局
〒838-0068 福岡県朝倉市甘木199-1
医療法人社団 俊聖会
介護老人保健施設 アルファ俊聖
TEL 0946-22-5551 FAX 0946-24-4688

編集/発行所

朝倉介護保険事業者協議会
〒838-1315 福岡県朝倉市入地2262-1
社会福祉法人 朝倉恵愛会
いしずえ荘 在宅部
TEL 0946-23-8823 FAX 0946-23-8813
印刷/井上総合印刷株式会社